



令和6年能登半島地震被災地支援本部会議 (第3回)

【日時】 令和6年1月18日(木) 午前10時～10時30分

【場所】 災害対策本部室 (県庁第2庁舎3階)

【参加者】

知事、副知事、政策戦略本部、輝く鳥取創造本部、総務部、危機管理部、福祉保健部、生活環境部、県土整備部

* 稲岡志賀町長が参加予定(WEB参加)

目的・次第

＜目的＞

令和6年能登半島地震の被害状況とフェーズに応じた今後の本県の支援等を確認する。

＜議題＞

- 1 被害状況、国・全国知事会等の対応状況
- 2 被災地への支援状況
- 3 今後の取組

被害状況(全国)

○人的・住家被害（消防庁被害報 1月17日9:00時点）

都道府県	人的被害						住家被害					
	死者	行方不明者	負傷者			合計	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	合計
			重傷	軽傷	小計							
	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
新潟県			5	44	49	49	25	658	0	14	3,538	4,235
富山県			3	41	44	44	18	62			2,457	2,537
石川県	222		230	661	891	1,113	357	27	6	5	2,006	2,401
福井県				6	6	6					45	45
長野県											8	8
岐阜県				1	1	1						
愛知県				1	1	1						
大阪府				3	3	3						
兵庫県				2	2	2						
合計	222		238	759	997	1,219	400	747	6	19	8,054	9,226

《死者の内訳》

【石川県】七尾市5人、輪島市88人、珠洲市99人、羽咋市1人、志賀町2人、穴水町20人 能登町7人

○停電の状況 1月17日14:00時点

＜北陸電力管内＞

石川県：約7,800戸（輪島市約4,900戸、珠洲市約2,400戸、能登町約320戸、穴水町約220戸、志賀町約20戸、七尾市約10戸）

被害状況等(石川県全体)

○人的・住家被害(石川県被害報 1月17日14:00時点)

市町名	人的被害(人)					住家被害(棟)					非住家被害(棟)			
	死者 <small>うち災害関連死※</small>	行方 不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	小計	公共 建物	その他	
			重傷	軽傷										
金沢市				9	9	2 6 0 0					2 6 0 0		1	
七尾市	5			3	8	7 2 7 6					7 2 7 6	8 2	5 2	
小松市				1	1		9	9 9 1			1 0 0 0			
輪島市	9 8	3	確認中	2 0 2	3 0 2	6 0 2	多数	多数	多数		多数			
珠洲市	9 9	6		1 4 5		2 4 4	多数	多数	多数		多数			
加賀市							5	1 7	8 1 6		8 3 8	3 8	2 2	
羽咋市	1				6	7	1 3 9 3				1 3 9 3	6 1		
かほく市							8 2 0				8 2 0		2 7 5	
白山市					2	2			1 0 4		1 0 4		3 7	
能美市								1	2 3 0		2 3 1	9		
野々市市					1	1			1 0		1 0			
川北町									2		2		1	
津幡町					1	1	8 3 7				8 3 7			
内灘町							1 1 4 1				1 1 4 1			
志賀町	2			6	8 4	9 2	2 8 5 5			6	5	2 8 6 6		2 1
宝達志水町							5 5 8				5 5 8		1	
中能登町				1	1	2	1 4 6 7				1 4 6 7			
穴水町	2 0			2 1	2 2 5	2 6 6	1 0 0 0				1 0 0 0			
能登町	7	5		1 0	2 5	4 2	3 5 2	多数	多数		3 5 2			
計	2 3 2	1 4		1 0 4 5		1 2 7 7	2 2 4 8 4			6	5	2 2 4 9 5	1 9 0	4 1 0

○停電の状況(石川県被害報 1月17日時点)

輪島市 約4,900戸 珠洲市 約2,400戸 能登町 約320戸 穴水町 約220戸
 志賀町 約20戸 七尾市 約10戸 石川県合計 約7,800戸

被害状況等(石川県全体)

○断水の状況(1月17日時点)

能登地域をはじめ、8市町で断水が発生中

市町	断水状況	水道の復旧対応
輪島市	約10,000戸 (ほぼ全域)	浄水施設の修繕、水道管の漏水確認・修繕
珠洲市	約4,800戸 (ほぼ全域)	浄水施設の被害状況確認・修繕
穴水町	約3,200戸 (ほぼ全域)	浄水施設の修繕、水道管の漏水確認・修繕
能登町	約6,000戸 (ほぼ全域)	浄水施設の修繕、水道管の漏水確認・修繕
七尾市	約18,400戸 (ほぼ全域)	浄水施設の修繕、水道管の漏水確認・修繕
志賀町	約7,210戸 (ほぼ全域)	浄水施設の修繕、水道管の漏水確認・修繕
羽咋市	約440戸 (北部地区の一部)	水道管の漏水確認・修繕
内灘町	約850戸 (北部地区、南部地区の一部)	水道管の漏水確認・修繕
計	約50,900戸	

※断水解消：白山市・加賀市(2日)、津幡町(7日)、宝達志水町(8日)、金沢市・能美市(10日)、中能登町(13日)、かほく市(14日)

○孤立集落の状況(1月17日時点)

輪島市、珠洲市、能登町で発生(合計7地区56人)

※ その他、被災地域全域に要支援集落(孤立は解消したが支援が必要な集落)等が存在

避難者の状況(石川県全体)

○避難所の開設状況(1月17日時点)

市町

市町名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
金沢市	10	338	広域避難(6カ所・308人)含む ※
七尾市	26	1,537	
小松市	1	4	広域避難(1カ所・4人)含む ※
輪島市	137	5,962	
珠洲市	46	2,567	
加賀市	0	0	1月9日 17時30分閉鎖 ※
羽咋市	2	96	広域避難(2カ所・29人)含む
かほく市	2	19	
白山市	1	43	広域避難(1カ所・43人)含む ※
能美市	0	0	1月3日 12時00分閉鎖 ※
野々市市	2	108	広域避難(2カ所・108人)含む
川北町	0	0	1日1日 21時10分閉鎖
津幡町	1	28	広域避難(1カ所・11人)含む
内灘町	3	122	広域避難(1カ所・8人)含む
志賀町	40	1,139	
宝達志水町	1	24	
中能登町	2	52	
穴水町	40	1,667	
能登町	56	1,577	
計	370	15,283	

県

施設名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
1. 5次避難所(スポセン、産業展示館)	2	260	累計 729人
2次避難所(旅館・ホテル等)	56	1,528	累計 1,655人

国の体制、対応状況

国では、1月1日17:30に「令和6年能登半島地震特定災害対策本部」を設置、22:40に「非常災害対策本部」に移行

<各省庁の主な対応状況>

内閣府	・石川県庁に内閣府調査チームを派遣 ・応急仮設住宅関係業務支援に係る職員を派遣
警察庁	・警察災害派遣隊を被災地に派遣(延べ約18,000人。鳥取県からは24名を派遣)
消防庁	・緊急消防援助隊を被災地に派遣(約2,100人。鳥取県からは183名を派遣)
防衛省 自衛隊	・石川県及び富山県へ災害派遣 →人命救助、物資輸送支援、入浴支援等を実施
総務省	・石川県内の被災市町へ総括支援チーム、対口支援チームを派遣 ・被災者に対する情報提供(生活支援情報をまとめたガイドブックの配布)、特別行政相談の実施
厚生労働省	・DMAT等を被災地に派遣(DMAT派遣チーム数:185隊。鳥取県からは45名余を派遣) ・衛生用品等(オムツ等)の物資支援
国土交通省	・TEC-FORCE等を被災地へ派遣(延べ約6,600人) ・給水支援(給水機能付散水車を派遣)

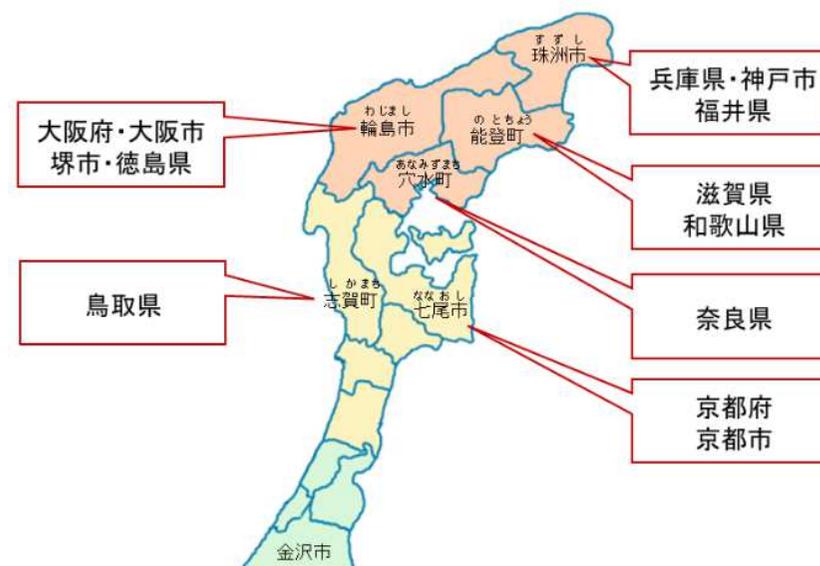
全国知事会、関西広域連合、中国地方知事会の対応状況

○全国知事会

- ・1月2日に「全国知事会緊急広域災害対策本部」を設置
- ・国と連携し、被災地への支援調整を実施

○関西広域連合

- ・1月2日に「令和6年能登半島地震災害対策支援本部」を設置
- ・石川県に対して支援することとし、石川県内の被災市町村へカウンターパート支援を実施



関西広域連合のカウンターパート支援

○中国地方知事会

- ・国、全国知事会から支援要請があった場合に、速やかに調整を開始し、職員を派遣できるよう即応体制を構築

ホテル・旅館等への2次避難(石川県)

- 自宅の復旧や仮設住宅等への入居までの間の被災者の生活環境を確保するため、金沢以南・県外のホテル・旅館への避難を支援、相談窓口を設けて受付、順次受入
- 受入施設について、石川県・国土交通省・近隣県で確保したほか、石川県ホームページで民間企業等から広く募集

1月17日時点

2次避難の状況



	【手法】	【受入先】	【1.5次避難所(スポセン・産展)受入状況】	【2次避難所受入状況】
緊急性「最大」 (孤立集落等)	リストを自衛隊に提供し、自衛隊が輸送支援(ヘリ等)	西部緑地公園または小松基地を經由し、いしかわ総合スポーツセンターで健康状態等を確認した上で、適切な2次避難所(ホテル・旅館)に移送		
要配慮者とその同伴者	1.5次避難所(いしかわ総合スポーツセンター・産業展示館2号館)にバス等で移動し、避難者の状況に応じ、適切な2次避難所(ホテル・旅館)を調整・移送		1/17時点 260人 (累計729人) ※数字は14時時点	【受入可能数】 1,018施設 30,249人/日 【受入数】 56施設 1,528人 (累計1,655人)
その他	①被災市町において、避難所の状況等も勘案しながら、移動希望者をリストアップ ②被災市町と県との間で移動希望者の移動日や移動先、移動手段等を調整し、移送	金沢市以南・県外の二次避難所(ホテル・旅館)に移送		

上記以外の被災地外への主な集団避難の状況(見込み)

- ・金沢市受入 : 額谷体育館等に輪島市南志見地区等から約270人
- ・白山市受入 : 松任総合運動公園に輪島市西保地区から約130人
- ・野々市市受入 : 老人福祉センター椿荘に輪島市鶴巣地区から約110人

※避難者数 約17,000人、※孤立集落等 約60人(避難者数の一部内数)

受入可能施設:現時点では、北陸4県(石川県、富山県、福井県、新潟県)、隣接県(岐阜県・滋賀県・長野県)のほか、三大都市圏(首都圏・中部圏・関西圏)で確保

自治体による対口支援の状況

被災4県に826名が現地入りして活動

1月17日時点

受援団体	対口支援団体	活動人数
石川県	志賀町 ◎愛知県、神奈川県、横浜市、鳥取県、岡山市	143
	七尾市 ◎名古屋市、さいたま市、京都府、京都市、埼玉県	138
	輪島市 ◎三重県、東京都、川崎市、大阪府、大阪市、堺市、徳島県、北海道、長野県、静岡市、岐阜県、愛媛県	155
	穴水町 ◎静岡県、奈良県、栃木県	24
	珠洲市 ◎浜松市、福井県、千葉県、千葉市、兵庫県、神戸市、山梨県、熊本市	185
	能登町 ◎滋賀県、和歌山県、茨城県、宮城県、岩手県	76
	加賀市 静岡市	5
	羽咋市 長野県	24
	中能登町 岐阜県	28
	津幡町 相模原市	12
	かほく市 群馬県	10
	宝達志水町 札幌市	10
	内灘町 仙台市、香川県	10
	金沢市 仙台市、島根県	10
富山県	氷見市 福島県	
	高岡市 広島市	
	射水市 青森県	
新潟県	新潟市 山形県、秋田県	

志賀町の概要

平成17年に志賀町と富来町が合併

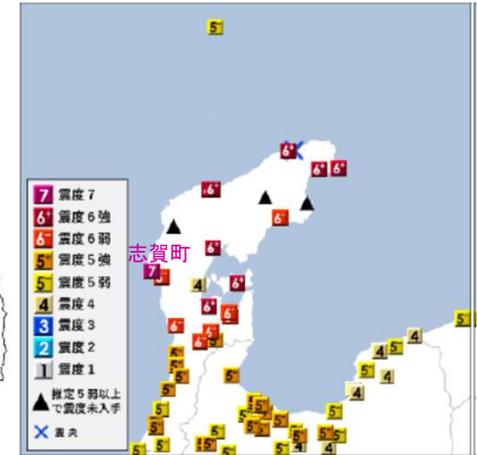
1月1日16:10の地震で震度7を記録

<面積>246.76km²

<人口>18,267人

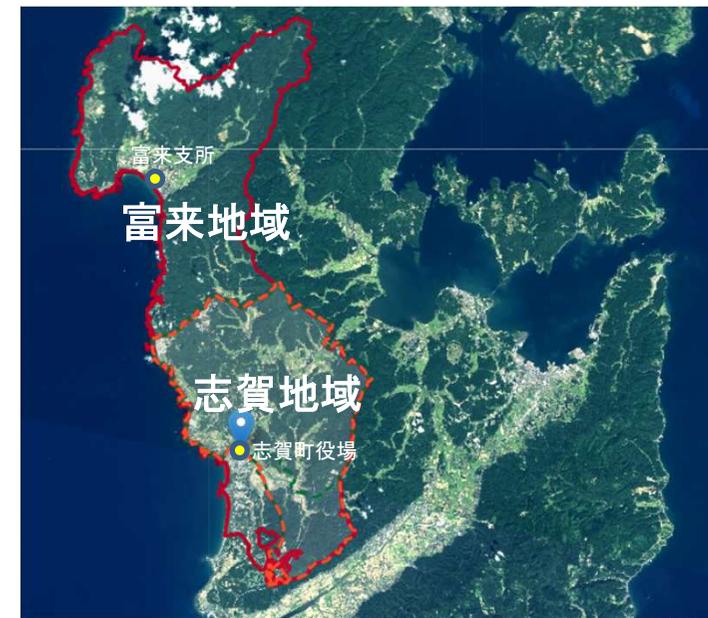
<人口密度(可住地面積)>2.41/ha

<林野面積>161.23km²



【被害状況】石川県被害報 1月17日時点

- 人的被害：死者2名、負傷者92名
- 住家被害：2,855棟
- 避難所の開設状況：40箇所(自主避難所含む) 1,139人避難
- 断水：約7,210戸
- 停電：約20戸
- ※ 町北部に位置する富来(とぎ)地域で比較的被害が大きい傾向



鳥取県の支援方針

- 対口支援団体である志賀町の支援ニーズ等に応じ、愛知県（総括支援団体）と連携し、町に寄り添いながら、県内市町村も含め、提案型で人的・物的応援を継続する。
- 国・全国知事会等の全国調整による支援要請があれば、対応する。

（支援要領）

- 支援要請に応じた支援
- これまでの経験に基づく状況や、フェーズ転換に応じた提案型の支援
- 町職員業務の代行による町職員の復旧・復興業務への注力を支援

志賀町の復旧復興への動き

志賀町では生活再建に向けた動きが加速している

避難者への弁当の提供開始 1/16～

これまで被災された方におにぎりやカップ麺を提供していたところ、弁当の提供を開始

志賀小学校・志賀中学校の再開 1/22～

避難所となっている志賀小学校・志賀中学校の再開に向け、避難所を統合し避難者の移動を実施(1/17・19)、合わせて段ボールベッドの配置など避難所の環境改善を実施(富来小学校・中学校は1/25から再開の予定)

一部の放課後児童クラブ・町保育園についても1/22から再開

罹災証明発行に伴う被害家屋調査の開始 1/15～

1/15から被害家屋調査を10班30人体制で実施(町10、愛知県15、横浜市5)

1/16時点で3,000件弱の申請があり、迅速に発行するために調査班の増員が必要

→1/22から20班60人に増強する予定だったが一旦延期

1/29以降の拡充に当たり追加の職員派遣が必要(町負担減のため経験者が望ましい)

水道復旧作業の実施

町・日本水道協会関東地方支部(横浜市、東京都、横須賀市、川崎市)の水道応援復旧隊で水道の復旧作業を実施中、基幹送水管の補修等を行い、1/15時点で約1,590戸通水、7,210戸が断水状況 ※通水後も原則使用制限

災害ごみ仮置場の準備

富来野球場駐車場に災害ごみ仮置場を開設(1/17～、人員はシルバー人材センター対応)、旧志賀中学校グラウンドについては開設準備中

職員派遣の状況

○志賀町役場への派遣

関西広域連合の対口支援として志賀町役場で情報連絡員、物資運営チーム、保健師チームが活動中(応急危険度判定チーム、水道復旧チーム(日本水道協会派遣の復旧部隊に引継ぎ)等は一旦終了)

○石川県庁への派遣

全国知事会による感染症対策支援として石川県庁へ感染症対策チームを派遣
[派遣人数(1/18時点)]

業務		活動中人数	のべ人数	活動状況
志賀町役場	情報連絡員(リエゾン)	4	8	・第1陣(1/5～11 2人)、第2陣(1/9～15 2人)、第3陣(1/13～19 2人) ・第4陣(1/17～23 2人)が町役場等で活動中(連絡調整、物資管理のサポート)
	物資運営チーム	20	85	・第1陣(1/6～11 25人)、第2陣(1/9～14 20人)、第3陣(1/12～17 20人) ・第4陣(1/15～20 20人)が町役場で物資の受入・仕分・配送準備の活動中
	保健師チーム	3	11	・第1陣(1/6～10 4人)、第2陣(1/11～17 4人) ・第3陣(1/16～22 3人)が避難所等で健康調査活動中
	応急危険度判定チーム	-	9	1/6～13 町内各地の応急危険度判定業務に従事。一旦終了
	水道復旧チーム	-	2	1/6～10 役場職員とともに通水エリアの拡大作業に従事。一旦終了
石川県庁	感染症対策チーム	2	4	・第1陣(1/10～19 2人) ・第2陣(1/14～ 2人)が避難所における感染症対策及び、1.5次、2次避難を円滑に進めるべく体制確保等支援活動中
計		29	119(※)	※県職員97人

被災地支援(政策戦略本部)

○被災地支援に向けて予備費発動

1月11日、予備費5千万円を発動し、機動的な被災地支援を実行中

＜現在の執行状況＞

ブルーシート、マスク等救援物資購入・輸送経費、災害派遣医療チーム（DMAT）負担金、職員派遣経費 等

○ふるさと納税代行受付による被災自治体支援

＜1月17日時点の状況＞ ※申込ベース

寄附金額 66,482,987円（3,025件）

（内訳）

- ・石川県 62,538,487円（2,742件）
- ・石川県志賀町 3,944,500円（283件）

石川県及び同県志賀町へのふるさと納税の代行

<https://www.pref.tottori.lg.jp/315501.htm>



被災地支援(福祉保健部)(1)

○鳥取DWAT(鳥取県災害派遣福祉チーム)の派遣【本県として初】

避難所などで福祉的な視点を活かし、要配慮者の災害関連死などの二次被害を防止し、安定的な日常生活への移行を支援する福祉の専門職チームを石川県内の被災地域に派遣

- ・1月21日(日)～1月26日(金) 第1陣(1チーム5名)
(従事内容)金沢市内の1.5次避難所での避難者のスクリーニング、アセスメント、日常生活支援、避難所内環境整備 など

○鳥取DMAT(災害派遣医療チーム)の派遣

- ・1月 7日(日)～1月15日(月) 第1陣(3チーム20名)
(従事内容)活動拠点本部の運営支援、市立輪島病院の支援(患者の搬送調整など)
- ・1月17日(水)～2月 5日(月) 第2陣(5チーム25名)
- ・1月11日(木)～1月19日(金) ロジスティックチーム隊員

○日本赤十字社鳥取県支部救護班の派遣

- ・1月 7日(日)～1月15日(月) 第1陣(1チーム8名)
(従事内容)輪島市での避難所巡回とアセスメント
- ・1月16日(火)～1月20日(土) 第2陣(1チーム9名)
- ・1月20日(土)～1月24日(水) 日赤災害医療コーディネーターチーム第1陣(1チーム3名)
(従事内容)現地に集結した救護班の配置調整 など

○JMAT鳥取(日本医師会災害支援チーム)の派遣

- ・1月18日(木)～1月21日(日) 第1陣(1チーム7名)
(従事内容)避難所の巡回診療

被災地支援(福祉保健部)(2)

○薬剤師(鳥取県薬剤師会)の派遣

- ・1月18日(木)～1月31日(水) 1チーム2～3名×3チーム
- ・モバイルファーマシー(移動薬局機能を有した災害支援車両)の出動
(従事内容)災害処方箋による調剤、服薬指導、避難所での消毒・衛生管理

○看護師の派遣

- ・1月22日(月)～2月1日(木)で日南病院から2名を派遣予定
- ・1月22日(月)～2月15日(木)で県立中央病院から4名を派遣予定
※調整中
(従事内容)石川県内の医療機関における入院医療に関する応援

○保健師等の派遣

- ・1月 6日(土)～1月10日(水) 第1陣(1チーム4名) ※保健師2名、衛生技師1名、事務1名
- ・1月11日(木)～1月17日(水) 第2陣(1チーム3名) ※保健師2名、事務1名
- ・1月16日(火)～1月22日(月) 第3陣(1チーム3名) ※保健師2名、事務1名
(従事内容)避難者の健康状態、衛生環境状況の確認、要配慮者への対応、健康相談等

○感染症対策に関する職員の派遣

- ・1月10日(水)～1月19日(金) 第1陣(1チーム2名) ※感染症対策局長、感染症対策課職員
- ・1月15日(月)～ 第2陣(1チーム2名)
(従事内容)避難所の感染症対策に取り組む石川県庁の新組織(1月11日発足)の特命チームのメンバーとして感染症対策支援

被災地支援(福祉保健部)(3)

○社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣

被災地域における社会福祉施設等の入所者へのサービス提供の維持及び避難者への適切な対応を確保するため、県社会福祉施設経営者協議会から各施設等に協力要請。

・1月15日(月)～2月29日(木)の日程で、計12名の派遣希望あり(1/17現在)

※具体の派遣期間等は調整中

○災害ボランティアの派遣

石川県の派遣照会に対して派遣登録済であり、日程等が決まり次第、派遣

○被災者生活支援金の支給

鳥取県内に避難される被災者の方に、当面の生活費を支援金として支給

・支給額:1世帯につき30万円(単身者15万円) ・申請受付開始:1月5日(金)

○生活福祉資金の貸付

鳥取県内に避難して来られた被災者の方に、当座の生活費を貸付(実施主体:県社協)

・貸付金額10万円(世帯員の中に亡くなった方がいるなど特別な場合は20万円まで可)

○災害義援金の受付

県において災害義援金募金箱を設置し、寄せられた義援金を日本赤十字社に贈呈

被災地支援（県土整備部）

○応急対策段階（短期）

・物的支援（所局の水防用備蓄資材）

物的支援リスト	単位	合計
土のう袋（全数）	枚	9,700
大型土のう袋	枚	6,300
ブルーシート（小）5.4×3.6m	枚	1,450
ブルーシート（大）9.0×9.0m	枚	1,150

※この他にも、県建設業協会に水防用資材の備蓄があり、提供について協議予定

○復旧・復興段階（中長期）

人的支援（土木技師等の派遣）

- ・被災地から派遣要請があれば、派遣を検討

避難者の受入（輝く鳥取創造本部）

○被災者受入支援総合相談窓口の開設（1/5～）

（開設場所：県庁人口減少社会対策課、中部・西部総合事務所）

【相談受付状況】（1月17日17時時点）

- ・被災者本人や市町村を通じての支援相談 5件

【対応状況】（1月17日17時時点）

- ・鳥取県への避難受入れ 2件
被災者に寄り添い、被災者生活支援金手続きをはじめ、生活支援を市町村と連携して実施
- ・鳥取県への避難検討中の方への対応 3件
被災者生活支援金等についての情報を提供

※県民の方からは、被災者の避難先として、空き家等の提供の申し出も相談窓口が届いている。

鳥取県へ避難される方への支援策

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1345408/hinannsarerukatah-enosiennsakuver2.pdf>



避難者の受入(生活環境部・総務部)

○県及び市町村で、159戸の被災者受け入れ住戸を確保(1月17日時点)

圏域	県営住宅	市町村営住宅	職員住宅
東部	15	16	6
中部	10	25	2
西部	15	57	13
合計	40	98	21

今後想定される被災地支援

○罹災証明発行に伴う被害家屋調査の支援

早急に発行できるように、応援派遣の増が必要

○福祉施設入所者の広域的な受入

被災した高齢者施設等の入所者の他県施設での受入（現在、北陸・中部の各県への搬送あり）

○避難所の長期化に当たっての継続的な運営支援（継続）

長期的な支援への複数自治体による継続的な支援

○被災家屋等の片付けなどの支援

県内ボランティアの派遣など長期的な支援

○障がいのある方への長期的な生活支援

手話通訳士の派遣など聴覚障がい者の方等の生活支援

○復興に向けた長期的支援

専門職員の派遣等による長期的な復興支援

○避難状況等の変化に伴う物資管理（継続）

○その他、医療・福祉・学校関係の支援